

# 神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2022年度達成度評価表 分野:社会貢献

		評価	理由
中期目標	地域連携、産官学連携の強化により、広く社会に貢献し、大学の社会的責任を果たします。		
中期計画	1 地域連携ネットワークの強化	A	コロナ禍が続く中でも様々な工夫により、既存連携事業の継続に加えて、新規連携事業も実施できたことで、各所との連携強化につなげることができた。特に、総合リハビリテーション学部においてこれまでの取組みが明石市との協定締結に発展したこと、ならびに神戸市及びJA六甲兵庫と連携した「楽農アカデミー」の2023年度からの開始準備が整ったことは評価できる。一方、図書館の地域への開放などのアイデアがあるものの実現に至っておらず、具体的な検討と実施が望まれる。2023年度以降も引き続き、あらゆる分野における連携事業を推進し、地域、他大学等との交流がより活発になることを期待する。
	2 教育研究成果の社会への還元	A	生涯学習事業については、2020年度以降減少していた参加者数が大きく回復した。特に、体験型公開講座においては、本学の特色を活かした新たなプログラムにて実施され、大学のブランド力のPRにもつながった点は評価できる。さらに、各学部及び研究科が主体のイベントにおいても、コロナ禍という制限はあったものの、少しずつ開催状況がコロナ禍以前まで戻りつつある。特に、経済学部では、幅広い世代を対象とした講座やオンラインシステムを利用した講座の開講など、様々な工夫のもと実施しており、評価できる。また、心理学部の子育てサロン「まなびー」の取組みは大学が運営する地域の子育て支援の拠点として、心理学研究科の心理臨床カウンセリングセンターにおける取組みは地域に開かれた心理相談機関として、それぞれ役割を果たし、実績も上がっていることは評価できる。今後も、アンケート調査等による実態把握を行うとともに分析を進め、ニーズに応じた事業の推進を図ることに加え、コロナ禍の影響により見直しが行われた事業については、精査のうえ、再開と発展が望まれる。

# 神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2022年度達成度評価表 分野:社会貢献

		評価	理由
中期目標	地域連携、産官学連携の強化により、広く社会に貢献し、大学の社会的責任を果たします。		
中期計画	3 ボランティア活動の推進と支援体制の充実	A	ボランティア活動の継続とさらなる推進のため、学生スタッフの育成に力を入れている点は評価できる。具体的には、ガイダンスや説明会への参加を促すだけでなく、コーディネーション研修の実施により、ボランティアや学生スタッフの役割について理解を深化させることができています。また、大学の広報媒体だけでなく、外部のメディアも積極的に活用することで、本学及び学生スタッフの活躍を伝えることができており、広報活動においても成果が上がっている。今後も学生スタッフとともに研修プログラムの開発や広報の方策などを検討し、ボランティア活動のさらなる活性化を図ることを期待する。特に、行政と協働して実施する活動については、行政との調整が不可欠であり、それによって中止を余儀なくされた場合には、活動に参加する学生に不利益をもたらすこともあることから、十分な情報収集に基づく計画的な実施が望まれる。
	4 総合型地域スポーツ・文化クラブ事業の推進	B	コロナ禍による各種イベントの参加者数への影響はあるものの、事業継続ができていた点は評価できる。新規事業であるテニスアカデミーについては、参加方法において柔軟性を持たせ、受講者数の増加を図ることができた。また、他大学開催の指導者向け講習会に本学ソフトボール部の学生がスタッフとして参加することで、他大学との交流も実現した。2023年度も新規事業を予定していることから、円滑な事業の実施と、さらなる事業推進に向けたニーズの把握や広報活動により一層取り組むことを期待する。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る